



(画像出所:NISTEP 様ご提供)

## ～Pathways to 2045/55 : ビジョン実現のための道のりの探索～

多様な学問領域・異なるセクターの知恵を持ち寄り、望ましい 2045/55 の社会像に向けた道のり(パス)を探りませんか。

### ■ 取組概要

科学技術・学術政策研究所(NISTEP)が第 12 回科学技術予測調査シナリオワークショップ(W S)を開催いたします(内閣府総合知 WS との合同により開催いたします)。この WS では、20-30 年後に社会の主役となる若者世代の価値観を踏まえた未来への願望―「ありたい」社会像<sup>1</sup>―を起点として検討を開始いたします。

---

<sup>1</sup> 科学技術予測・政策基盤調査研究センター (2023), 「第 12 回科学技術予測調査 ビジョンング総合報告書～個々人の多様な価値観に基づく「ありたい」未来像の共創～」 <https://doi.org/10.15108/rm331>

### 【「ありたい」社会像(テーマ)(案)】

- ① 包摂性・多様性・利他性に基づき自然・文化が調和する地域社会(絆)
- ② ダイナミズム・チャレンジにあふれる変革する社会(稲妻)
- ③ 誰もが自律度高く民主的に参加し自分らしさと創造性を発揮できる社会(航海)
- ④ 安心と生活の質を高める、ゆとりある強靱な社会(オアシス)

これら「ありたい」社会像へ至る、現在からの道のり(パス)について、多様な学問領域・異なるセクターの参加者とともに、専門的・実務的知見を基にしながら、創造的手法も活用し、探索いたします。その過程で、市民 WS も開催し、再度、幅広い社会のアクターを巻き込み、望ましい未来像を一緒に描きます。

## ■背景・目的

価値観の断絶、経済格差拡大、少子高齢化、激甚災害の頻発等、未来への不安は大きくなっています。そのような中で、持続可能性、SDGs、Society5.0 の次の社会実現に向けた、建設的な議論を行います。

検討結果は、NISTEP の第 12 回科学技術予測調査のシナリオとして取りまとめられ、科学技術・イノベーション基本計画を始めとした科学技術イノベーション関連政策・戦略検討・立案のために活用されます。また、内閣府総合知ワークショップとの合同により開催され、総合知の一事例として内閣府ホームページにて紹介されます。

今回は、下記<研究・政策・産業 WS>への参加者を募集いたします。<市民・若者 WS>については、詳細が決まり次第、別途ご案内いたします。

## ■WS 詳細(研究・政策・産業)

### 1. 主催者等

主催： 文部科学省科学技術・学術政策研究所

共催： 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局

協力(運営)：

株式会社日本総合研究所未来デザイン・ラボ

株式会社フューチャーセッションズ

## 2. 全体スケジュール・場所

日時	場所
<研究・政策・産業 WS> <b>第1回キックオフ会合</b> 11/26(火) 12:30-16:30(予定) ※全体で開催 ※総合知の紹介(10~15分程度)含む	3×3 Lab Future(東京都千代田区大手町 1-1-2 大手門タワー・ENEOSビル 1F)
<研究・政策・産業 WS> <b>シナリオ作成・分析 WS(予定、回数は進捗に応じます)</b> 12月~1月: 計2~4回程度(各回2~4時間程度) ※テーマ別のグループごとに日程調整の上で開催	オンライン
<市民・若者 WS> 2月上旬: 市民を対象としたワークショップ	オンライン
<研究・政策・産業 WS> <b>バックカスティング WS(予定)</b> 2月中下旬: 1回 半日程度 ※全体で開催 ※総合知の観点からの議論の振り返り(10~15分程度)含む	対面(東京)予定
<シナリオ解釈のための対話> 3月上旬 ※総合知の政策担当者らとの議論	対面(東京)予定

※今回は、<研究・政策・産業 WS>へのご参加に関する募集になります。

## 3. 定員

全20~30名程度

定員を超える多数のお申し込みをいただいた場合、参加者の多様性、専門性に配慮して参加者を決定させていただくことがございます。予めご了承ください。なお、参加の可否につきましては、後日メールにてご連絡いたします。たくさんのご応募、誠にありがとうございます。

## 4. 参加費: 無料

## 5. ワークショップの検討方法

ビジョニング調査(若者世代を中心とした市民の未来に対する願望についての調査)により得られた「ありたい」社会像をバックキャストによる探索の起点として、ホライズンスキヤニング調査(専門家を対象とした注目科学技術調査<sup>2</sup>等の各種未来に関する情報)やデルファイ調査(約 5000 人規模の専門家の参画による未来に実現が期待される科学技術や社会変化等の調査<sup>3</sup>)の結果も用いながら道筋の検討を行います。加えて、フォーサイト(未来洞察)の各種創造的な手法を用いながら、テーマ毎のグループにより検討を行います。

### 【創造的手法(案)】

Manoa Four Futures Method(Archetypes)

X-curve

Causal Layered Analysis

進行は、日本総合研究所未来デザイン・ラボ及びフューチャーセッションズのワークショップ運営経験の豊富なコンサルタントが、ファシリテーターとして各グループの議論をリードします。

## 6. 参加のメリット

- 異分野・異業種の参加者同士が専門知・実践知を持ち寄り、起こり得るシナリオや望ましい未来像を一緒に作る機会になります。
- 未来を検討するための各種のフォーサイト(未来洞察)／Futures 手法について体験することができます。フォーサイト手法の経験がない方も歓迎いたします。
- 科学技術や社会に関する各種の未来予測・未来洞察情報に触れることができます。

## 7. 参加要件

- 研究・政策・産業の何れかに関するバックグラウンドを持つ社会人の方、あるいは社会人経験をお持ちの方。
- 第 1 回キックオフ会合に参加可能な方。また、12 月～1 月にかけて 2～4 回、及び 2 月下旬に 1 回開催されるシナリオ作成・分析 WS 及びバックキャスト WS の日

---

<sup>2</sup> 科学技術予測・政策基盤調査研究センター (2024), 「専門家が注目する科学技術に関するアンケート調査 (NISTEP 注目科学技術 2023)」 <https://doi.org/10.15108/rm336> 等

<sup>3</sup> 第 12 回調査デルファイ調査の速報は 12 月中公表予定。第 11 回調査におけるデルファイ調査は、「第 11 回科学技術予測調査 デルファイ調査」<http://doi.org/10.15108/rm292> や「第 11 回科学技術予測調査 S&T Foresight 2019 総合報告書」<http://doi.org/10.15108/nr183> を参照

程調整及び参加が可能な方。

- テーマについて前向きに探求する意思があり、WS に積極的に参加可能な方。

## 8. 申込締切

1次締切:11月8日(金)17時

2次締切:11月19日(火)17時

※人数に余裕がある場合のみ2次募集を行います。

<参考:NISTEP 科学技術予測調査について>

- NISTEP では、科学技術・イノベーション基本計画を始めとした科学技術イノベーション関連政策・戦略検討・立案のためのエビデンスを提供することを狙いとして、科学技術が未来社会にもたらす様々なインパクトを踏まえた上で、20~30年後の将来社会の在り方について検討する科学技術予測調査を約5年毎に実施しております<sup>4</sup>。
- 現在、第12回調査として、ホライズンスキャニング調査、ビジョニング調査、デルファイ調査を行っております。今回、これらの調査結果も用いながら総合的な検討を行い、日本が目指すべき未来像やその実現のための道筋を示すシナリオを作成し分析いたします。幅広い専門家・政策担当者や市民等の協力の下、複数のシナリオを作成するとともに、シナリオの含意・解釈等について関係者らと対話を行いつつ、社会一般に広く公開することを目的としています。(株式会社日本総合研究所は、当該業務の委託を受けています。)

<参考:総合知とは<sup>5</sup>>

多様な「知」が集い、新たな価値を創出する「知の活力」を生むこと

- 多様な「知」が集うとは、属する組織の「矩」を超え、専門領域の枠にとらわれない多様な「知」が集うこと。
- 新たな価値を創出するとは、安全・安心の確保と Well-being の最大化に向けた未来像を描くだけでなく、科学技術・イノベーション成果の社会実装に向けた具体的な手段も見出し、社会の変革をもたらすこと。
- これらによって「知の活力」を生むことこそが「総合知」であり、「総合知」を推し進めることが、科学技術・イノベーションの力を高める

---

<sup>4</sup> <https://www.nistep.go.jp/research/science-and-technology-foresight-and-science-and-technology-trends>

<sup>5</sup> <https://www8.cao.go.jp/cstp/sogochi/index.html>

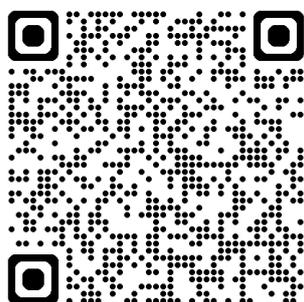
## ■申込先

下記 Google Form に必要事項を記載の上、お申込みください。

【URL】

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd54EQ9QF5QcABK1bpmQMAna0s4nGMIFAXqjcd1nVKG4INO0Q/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd54EQ9QF5QcABK1bpmQMAna0s4nGMIFAXqjcd1nVKG4INO0Q/viewform?usp=sf_link)

【QRコード】



【問い合わせ先】

[200010-nistep\\_jri-members@ml.jri.co.jp](mailto:200010-nistep_jri-members@ml.jri.co.jp) (株式会社日本総合研究所 未来デザイン・ラボ 橘田・中山・市岡・萱内 宛)